

UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内

電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776

E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 38 号

平成15年(2003年)12月

カムループス市からの公式訪問団が来訪 交流会などで市民との友好を深める

宇治市の友好都市であるカムループス市からの公式訪問団が、十一月十三日から十七日まで来訪。公式行事のほか、協会主催の交流会などを通じて、市民の皆さんと友好を深めました。カムループス市からの公式訪問団の来訪は、平成十三年二月以来でした。(三面に写真を掲載しています)

今回の一行は、ピーター・シャープ議員を団長に、三人の子どもを含む総勢二十一人。中には、カムループス市の元国際交流担当者のキャロルさん、カムループス市で宇治市民を何度も温かく迎えて

いただいているマリクルゴ夫妻、宇治市民留学生を派遣しているカリブ大学のバーンスレイ学長ご夫妻など、宇治市民となじみの深い方も加わっていました。

訪問団の主な日程は、次のとおりです。

【十一月十三日(木)】夜に関西空港に到着。そのまま、宿舎のホテルに直行。

【十一月十四日(金)】午前十一時に宇治市役所を表敬訪問。市役所一階ロビーで、久保田市長をはじめ、多くの市民の皆さんの出迎えを受けました。

歓迎式の後、一行は市役所内で関係者と懇談。完成したばかりの「うじ安心館」も訪問し、最新鋭の消防指令室などを視察。

その後、宇治中学校で学校施設や授業を見学して教育関

係者と懇談。三人の子どもも訪問団員は、中学一年生の英語クラスに飛び込んで、子ども同士の交流を深めました。

夜は、宇治市と協会の共催による歓迎晩餐会に参加者と友好を深め、宇治田楽や邦楽のアトラクションも楽しみました。

【十一月十五日(土)】午前中は万福寺を見学して座禅も体験。午後には源氏物語ミュージアム、宇治上神社、朝日焼、平等院通りなどを見学しつつ、宇治川畔一带を歩いて散策。宇治公民館では、お茶とお餅のおもてなしを受けました。

夜は、市民のお宅を訪問して夕食をご馳走になるホームビジット。二、三人一組に別れて、日本の家庭の夕食を堪能し、家族の皆さんとの交流を楽しみました。

【十一月十六日(日)】午前中は生涯学習センターで、協会主催による交流会に参加。協会会員や、昨年カムループス市を訪問し、交流を深めた皆さんが一行を歓迎。伝統玩具

や折り紙、書道、邦楽器、茶席、和服の着付けなど、日本の伝統文化に触れ、昼食ではおにぎりパーティーをして、楽しく思い出深いひとときを過ごしました。

午後は京都市内を観光し、買い物も楽しみました。

【十一月十七日(月)】午前中は京都市内を観光。午後に帰国の途につきました。

* * *

宇治市では、カムループス市や咸陽市に、行政と一般公募の市民で構成する公式訪問団を派遣しています(十五年度は咸陽市訪問の予定でしたが、SARSの影響で中止)。また、協会の補助を得て、協会加盟の市民グループも、友好都市を訪問しています。海外に新しい友人を作り、その友人が来訪したときには旧交を温める...そんなすばらしいお付き合いができる機会が待っています。

市民訪問団員の募集が行われる際には、市政だよりに記事が掲載されますので、お見逃しのないように。

協会補助を受けての友好都市訪問をお考えの協会加盟グループの皆さんは、協会事務局までお問い合わせください。



會長 上林寛子

子どもたちに目録を贈呈。地球儀も
プレゼント



早速みんなで本を並べました



☆
☆
☆

国際ソロフチミスト宇治援建図書館
の名称がついています



末尾になりましたが、本事業推進のためにお世話になりました宇治市当局をはじめ、関係各位に厚くお礼申し上げます。

カムループス市訪問団 宇治市滞在記

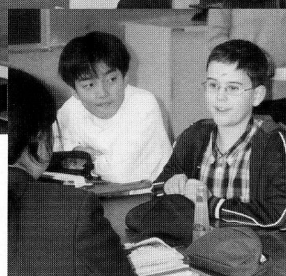
▶ 久保田市長と固い握手をかわす
ピーター・シャープ団長



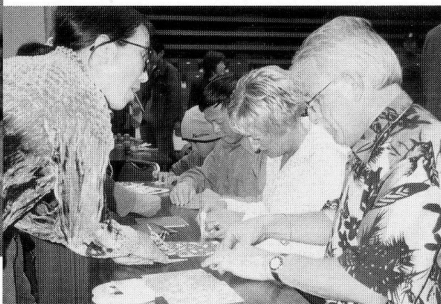
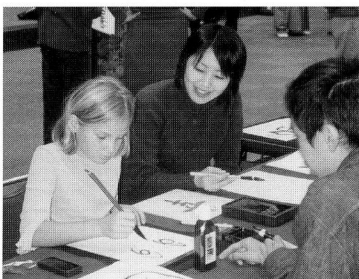
▶ 学校訪問では授業に飛び入り参加。子供たちも楽しく交流 (右下)



▲ 秋の宇治川畔を散策。ボランティアガイドさんにもご協力いただきました



▶ 交流会ではいろんな日本の伝統文化に触れました



▲ 和服姿が似合うシャープさんとカムループ市担当のボビーさん

▼ カムループス市を訪問した中学生も加わってのおにぎりパーティー



▶ ホームビジットでは、受け入れ家庭ごとに工夫をこらして歓迎していただきました

参加者募集

☆☆☆☆☆ 世界の文化交流会 ☆☆☆☆☆
お正月交流パーティ

宇治在住の外国の方々に、お国とその文化を紹介していただき、日本の伝統的な華道、茶道、書道、遊び、着物などの紹介をし、日本の文化も理解してもらう、文化の相互交流をします。

邦楽や懐かしい音楽の演奏などもあります。

いろいろな国の文化に直接ふれてみませんか (軽食あり)。

日時 : 1月25日(日)、午前11時~午後2時
場所 : 宇治公民館
会費 : 500円、外国人無料
主催 : 宇治国際交流クラブ
問い合わせ : 小永井宏子さん (22-2137)

最近のスリランカ情勢から

十一月六日の日本の各社新聞紙上に、コロンボからの報道によると、スリランカのクマトウंगा大統領が、五日に全土に非常事態を宣言したとの記事が掲載されました。

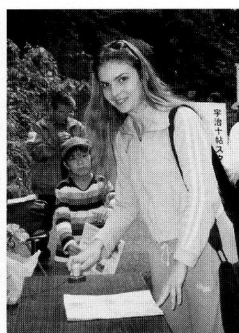
現在、スリランカでは、同大統領と政治的にライバル関係にあるウイクラマシンハ首

相が、少数派タミル人武装組

織タミル・イーラム解放の虎（LTTE）と和平交渉を進めていますが、今回のことで、スリランカの今後に悪影響が出るのが心配されます。

協会事務局にも、ご心配の

お問い合わせありましたので、最近の現地の情勢を、在



留学生探訪ツアー実施

留学生探訪ツアーを、十一月一日～二日に実施。宇治市内外に在住の中国、モンゴル、フランス、チェコ、イギリス、ベトナム、カナダの皆さん二十人が参加しました。一日目の万福寺見学では座

禅も体験、二日目のスランプラリーでは、秋の宇治の風情を楽しんでもらいました。

一泊ホームステイも、留学生の皆さん、お引き受けいただいたホストファミリーの皆さん共に好評でした。

ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

語学講座始まる

今年度の語学講座が、十一

スリランカ日本国大使館に照会しました。

回答の主な内容は、次のとおりです（十二月八日付）が、

今回の事態では、市民生活には一切変化はなく、治安的には、宣言以前及び以後も、市民生活に影響を及ぼすような事件は発生していないので、心配はないとのことでした。

①十一月四日、大統領が首相の外遊中に内閣の主要な三

月十九日から始まりました。

いずれも入門編で、英語の講師はカムループス市からAET（英語指導助手）として来日中のブライアンさんとケビンさんが分担、中国語は咸陽市の隣の西安市から京都の大学に留学中の王さん（宇治市在住）です。

受講生の皆さんには、三月までの十二回の講座で、外国語を学ぶ楽しさを十分に堪能していただけるでしょう。



英語講師のブライアンさん

中国語講師の王さん

閣僚を罷免し、自らが国防、内務（警察）、マスコミ大臣となった。

②十一月五日、大統領が非常事態宣言を発令。二週間国会を停会（宣言は内戦時には十八年間ずっと発令されていたもので、市民生活には関わりなく、デモなどの行為が禁止されるだけ）

③十一月七日、外遊中の首相が帰国するのに合わせ、時の形勢が不利と見た大統領が、非常事態宣言を事実上撤回

④宣言に伴って、主要な場所（国営テレビ局・ラジオ局・官報を印刷する政府印刷所など）に警察・軍隊が配置されたが、市民生活は変わりなく、何の事件も発生しなかった。

⑤宣言以降、内政はグクシヤクした状況にあったが、政治的に対立している大統領と首相が共同して和平の推進に乗り出し、内政の混乱を收拾させようと努力していることから、安定した状態にある。

⑥今回の事態の背景は、首相（政権与党）に国民の支持が集まっており、政権奪取を狙う大統領（野党）側が、かねてから国民が治安に不安を抱いていたために、一気に国民の人気を取ろうとしたものの。

雑観雑感

今年の冬は暖冬傾向なのでしょうが、積雪のないスキー場開きのニュースを目にしました。関係者にとって降雪の多少は、死活問題でしょう。

一方、今年の米の作柄は、冷夏の影響で、軒並み低い作況指数となっており、特に北の地方では、その傾向が著しいとのこと。

暑くあるべき時期は暑く、寒くあるべき時期は寒いの、人の自然な生活にとって大切なことを痛感します。

しかし、今年の冬の一歩の心配事は、6月の暖かい時期になって漸く沈静化した、SARS（重症急性呼吸器症候群）の再発です。

既に、SARSとの混同を防ぐため、インフルエンザの予防注射をする人が多く、ワクチンは不足気味だと報道されています。

寒い冬は、それだけでなくとも抵抗力の低い高齢者や子どもたちを直撃するうえ、SARSの再流行といった事態になれば、つい、そうした心配をしてしまいます。

手洗いとウガイを励行し、寒さに負けない健康作りにご留意ください。（橋本）